



自由民主党 萩窪利充 4
発達障害と児童通所施設

問療育もやっている事業所や児童通所施設は市内に数件存在するが、市はこの需要と供給のバランスをどのように捉えているのか。

事業所が指定されており、今後増加していくことが想定される。

ニーズも多様であることから、様々な特色ある支援を行う事業所の存在は有効なことと認識しており、需要と供給のバランスについては、指定を行う県とともに検討が必要であると考えている。

答こども未来部長 平成24年度からスタートした障害児通所支援事業は、現在全国的に事業所数・利用件数ともに急激に増加している。本市においても、昨年度中10カ所の

一億総活躍社会の実現
共生社会と発達支援



民進党 片野広隆 5
福祉避難所は機能するのか

問福祉施設との協定に満足し、定期的な情報共有や運営マニュアル整備、開設訓練など全て未実施の現状で、市の福祉避難所は適切に機能するのか。

福祉施設との情報共有、運営マニュアルや訓練の実施等が重要であると認識している。

今後、本市の実情にあった運営マニュアルの作成や、連絡体制の構築などについて、協定を締結している施設等と協議検討していきたいと考えている。

答栗原副市長 ※ 災害時に福祉避難所が適切に運営される体制の構築は、非常に重要であると考えている。

また、円滑に被災者を受け入れるため、平時から福祉避難所について公共調達への市長判断



自由民主党 三上喜久蔵 6
南古谷駅周辺の街づくり

問南古谷、古谷、芳野地域の課題である、南古谷駅北口開設に伴う周辺の総合的な整備に向けての市の考え方はどうなのか。

ことさらなる発展が見込め、また、それに伴う道路整備等が進むことも想定され、市が計画している農業ふれあいセンターを活用したプロジェクトや伊佐沼公園整備事業等との連携により、東部地域の一層の活性化が期待できることから、重要な施策と認識しており、計画的に検討を進めたい。

答市長 ※ 駅周辺整備には、地元関係権利者の意見をもらいながら地域の合意形成を図ることと、埼玉県やJR東日本等の関係機関との調整を進めることが必要である。今後、駅周辺整備を進める

南古谷駅周辺整備



やまぶき会 小野澤康弘 7
避難勧告発令時の市の体制

問小畔川増水による名細地区他の避難勧告が、川越市洪水対応タイムラインで定められた体制と異なる警戒体制第1配備で発令されたのはなぜか。

として定めたものである。今回、実際の災害対応としては、平日・日中であったことから、各部、各班の判断で増員を図った状況もあった。

答危機管理監 タイムラインでは、避難勧告発令の際の体制は非常体制第1配備となっているが、タイムラインにおける避難勧告等の発令や体制決定のタイミングは、目安

今後、夜間・休日の対応も考慮し、災害対応に十分な職員確保を図れるよう、配備体制を検討していきたいと考えている。
道路橋りょう整備
台風第9号の対応



公明党 中村文明 8
災害に対する具体的な協議

問災害協定を締結している地元建設業者との今後の具体的な協議について早急に対応すべきであると思うが、どのように進めていくのか。

市の建設部及び上下水道局の意見等を参考に、検討すべき事項などを整理した上で、喫緊に川越市建設業協会と災害時の初動対応などを協議するほか、防災訓練において災害時の連携体制を構築していきたいと考えている。

答栗原副市長 ※ 災害時において迅速な応急復旧業務を行うため、平常時からの連携が必要と認識している。

今後、他市の建設業協会等との連携状況や、本

災害協定の現状と課題
障がい者の健全な生活
公共工事の諸課題



公明党 田畑たき子 9
医療用ウィッグの助成

問女性が輝きながら、社会復帰するために、抗がん剤治療の副作用に悩む女性に医療用ウィッグ・胸部補正具の一部助成をできないか。

んにり患された方に対する社会復帰を支援するため、総合的ながん対策を推進する上で必要な事業として位置付け、各自治体において実施しているものと理解している。

答保健医療部長 本市においては、健康増進法に基づいたがん検診の実施と啓発活動を中心に事業を展開している。

一方、医療用ウィッグ等の補助については、がん対策
女性の通勤環境